

# カトリック河原町教会だより

## 2017年4月

### ガブリエル 大塚乾隆 司祭叙階式を感謝のうちに

3月20日(月)10時30分から、大塚司教の司式により大塚乾隆(けんりゅう)助祭の司祭叙階式が執り行われました。教会聖堂には教区内、また済州教区や各地から多くの人々が集い、新しい司祭の誕生を祝って喜びのうちに神様に感謝の祈りをささげました。ミサの終わりに大塚司教から、大塚乾隆司祭の派遣先は京都南部地区洛北ブロックであることが発表されました。



#### 「留まるな。もう一度、動きなさい」

司祭叙階を受ける前、神学校で約10年間、神学生として勉強したことで、もうこれで十分だと思いました。「これ以降は勉強しなくていい」と思ってしまいました。済州教区で働いていたその時は、そのように思ってしまったのです。そうした私に神様はブレーキをかけてくれました。

「留まるな。もう一度、動きなさい」。

そして、日本に派遣されました。最初は日本語の負担や、外国での生活が本当に大変でした。言葉が通じなかったので“ホンマ”に怖かったです。正直に言うと、逃げたかったです。まるでイエス様が最後にゲッセマネでお祈りをされ「わが父よ、できますならば、この杯をわたしから過ぎ去らせてください」と言われた時と同じような気持ちでした。しかし、イエス様は結局「わたしの願うようにはなく、あなたのみ心のようになさせてください」と言いながら、杯を受け取りました。だから、私もそのようにやってみようと思いながら頑張りました。

一年が経って、二年が経つうちに、怖くて、寂しくて、逃げたかった京都がだんだん温かくなって、幸せで、いつも一緒に過ごしたい所が変わり始めました。今だから言えるのですが、最初の洛東ブロックでの生活、つまり、河原町教会は怖かったです。本当に不安でした。なぜかというと、何も知らないまま来た日本の最初の所だ



#### 洛東ブロック担当 キム・テジョン神父

ったからです。しかし、担当司祭として仕事をしていたら、最初の不安は不要なことだとわかりました。今では、完全に居心地の良い所になりました。信者さんたちも多くて、いつも笑顔で話しかけてくださったり、手伝ってくださるブロックの方々に恵まれていたので本当に嬉しかったです。

でも、いつの間にか洛東ブロックの姿が京都教区の姿で、日本のカトリックの姿だと思い、それに慣れてしまいました。そしてある日、日本に来る前に神様がおっしゃったあの御言葉を、もう一度聞きました。

「留まるな。もう一度、動きなさい」。

私はもう一度動きます。心地よくて、幸せだった洛東ブロックから、知り合いが一人もない新しい所へ…。4年前、チェジュから京都に来た時より、もっと嬉しい気持ちで出発します。その所でも神様が助けてくださるし、ここで、信者さんたちが一緒にいてくれることを経験したからです。

私はここから離れていきますが、私がここにいた間を振り返ってみると、嬉しい毎日でした。すべての日々が神様からいただいたプレゼントでした。洛東での生活を忘れず、その思い出で、これからも頑張ります。そして、洛東ブロックの皆さんのためにお祈りいたします。

本当にありがとうございました。“おおきに”

## 伏見教会で「洛東ブロック四旬節黙想会」

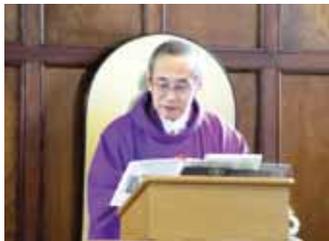
テーマ：「幸いなるかな、心の貧しき者」

講師：九里 彰 神父 (カルメル会)

洛東ブロック四旬節黙想会が3月5日(日) 伏見教会で行われました。9時からのミサに始まり、九里神父の2回の講話、ゆるしの秘跡と聖体賛美式が行われました。

◆「あなたがたの体は、神からいただいた聖霊が宿ってくださる神殿であり」(1コリント6・19)

イエスは牛や鳩、羊でいっぱい神殿から、商人たちを追い出しました。神殿である私たちの心の中も、物でいっぱいになってはいないか、「貧しさ」について黙想するヒントをいただきました。



◆「何を食べようか、何を着ようかと思ひ悩むな」(マタイ6・25)

イエスは山上の説教で、食べ物も衣服のことも、何も思ひ悩むなど語っています。無一文になるということは、人間の常識からすると非現実的なことに思えますが、イエスがここで人々に最も伝えたかったことは、「神への信頼」を持つことであると強調されました。

◆「主の道を整え、その道筋をまっすぐにせよ」(マタイ3・3)

「曲がった道」とは、人間の優越感と劣等感など自らの思いでいっぱいの状態を表しており、四旬節は、物であふれた「心の道路工事」をする時であり、私たちの心に主が入ってこられるようにするため、三つの課題を示してくださいました。

一つ目は、物でいっぱいの心を「空っぽに」すること。二つ目は、曲がった心を「まっすぐに」すること。三つ目は、利己心や人間の思いにとらわれた奴隷状態から心を「自由に」することです。

◆「ヘロデのパン種によく気をつけなさい」(マルコ8・15)



目に見えないほど小さなパン種はファリサイ派の人たちの心に入り込み、虚栄心、名誉心、偽善となり大きく膨らみました。私たちの心の中はどうかを振り返って、黙想しました。

◆「新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない」

(ヨハネ3・3)

「貧しい者」になることは、きわめて難しく、「神の力」なくしては不可能であること。そして、古い自分に死んで新たに生まれることが、貧しくなることであり、人間の力ではなく神の力・聖霊によってなされると語られました。



◆創世記2章

神に創られた人間ですが、原罪により、もともと自分を高くする、誇るという傾きを持っている。蛇の誘惑によって得た善悪の判断は人間に自己意識を与え、自らを神のようにさせ、その自己意識が文明の発達を生み、人間は自己の「分別」に従ってますます神から離れていったと語られました。

そして、私たちは皆洗礼によってすでに神の子とされているが、それで終わりではなく、本当の「光の子」となるために努力しなければならないこと、霊的生活を歩むことによって、少しずつ「神の子」とされることを示してくださいました。

◆「仕える者になりなさい」(マルコ9・35)

「貧しい者」となるためには「謙遜」が必要であること、イエスに従う「十字架への道」は「仕える道」であり、イエスは弟子の足を洗う行為を通してそれを示し、神の子でありながら多くの人々に「自分をささげるための道」を歩んだ、それが、イエスが「この世に来た理由」であると語られました。

◆カルメルの霊性から

アビラの聖テレジアの著書『完徳の道』には、心貧しくするために「相互愛」・「被造物からの離脱」・「真の謙遜」の三つが記されている。十字架の聖ヨハネの『カルメル山登攀』は、心と精神が解放され、自由になって神を追う「霊性」について書かれている、と聖人の本を紹介されました。(\*十字架の聖ヨハネの持ち物は、聖書と一冊の教会の本のみだったそうです)

◆リジューの聖テレジアと三位一体のエリザベト

リジューの聖テレジアは、何も持たない無力な「幼子の道」を生きた人であること。三位一体のエリザベトは、「十字架の道は自己忘却である。真に幸福な人は自分自身を一番忘れており、その中心には神が内在しておられ、それこそが自由な状態であり平和と幸福の秘訣である」と、聖人の言葉を紹介されました。(編集委員のメモから)



## 2017年度洛東ブロック年間計画

1. 各教会に、ブロックのための聖書や生活について分かち合える交流の場をつくり、信徒に限らず、求道者、スカウト活動の人々、地域の人々などすべての人々に開かれた場にする。
2. ブロック合同で、四旬節黙想会、典礼研修会、平和祈願ミサ、病者のためのミサの機会を持ち、典礼や祈りを通じて、ブロック共同体を体験する。
3. 「ラウダート・シ」を学び、ブロックとして取り組める福音宣教の課題を検討する。
4. 中高生・青年のために、「高山右近の生き方」、「ラウダート・シ」を学び、分かち合う集いを行う。

## キム神父様 ありがとうございます

ペトロ キム・テジョン神父が、洛東ブロックから滋賀ブロックに異動することが発表されました。(2017年4月17日付)

キム神父は、2013年2月に姉妹教区である済州教区から京都教区に派遣され、4年にわたって洛東ブロック4つの教会のために奉仕してくださいました。今では日本語を流ちょうに話され、いつも笑顔で皆に温かく接してくださいました。特に洛東ブロックの青年や土曜学校などのために力を尽くされ、常に「日本と韓国の架け橋になりたい」との宣教への熱い思いを抱いて奉仕されました。土曜学校の子どもたちもキム神父異動のニュースを知って驚き、口々に「寂しいなあ～」と話しているそうです。

神父様、本当にありがとうございました。

そしてこれからもどうぞよろしくお願いいたします！

### キム神父 思い出アルバム



2013.7.12通訳を介してのインタビューで



2016.4.3



2016.6.26



2016.4.3「神のいつくしみの主日」  
洗礼を授けるキム神父



済州教区との交流11周年ミサでは通訳を



2016.10.16 WYD報告会  
クラクフでの体験を語る



2016.8.8~10  
神父様との土曜学校夏の錬成会

## 河原町教会3月12日評議会議事録要約

**司祭団から**=①司祭の異動が発表。キム神父は滋賀ブロックに異動、後任は菅原友明神父です。4/2の10:30ミサ後、集会室でキム神父の送別会予定②6/17新聖堂建立50周年の明治村旧聖堂でのミサは済州教区交流月間を兼ねる。③洛東ブロック年間計画実行のため協力していきましょう。

**洛東ブロック黙想会**=3/5伏見教会で四旬節黙想会が九里神父(カルメル会)指導で行われた。河原町教会からは約10名参加

**各部会報告**=(1)典 礼 部 = ①3/5・10:30ミサで6名の洗礼志願式(キム神父司式)があった。②3/20に大塚乾隆助祭の司祭叙階式が行われる。3/26大塚司祭の初ミサ予定(2)財 務 部 = 2/26に2月例会開催。教会維持費納入台帳の整理と納入依頼を開始予定(3)教 育 部 = ①土曜学校:①中高生合同で初ミサのお祝いの品を初ミサのとき渡す。②3/27堅信準備講座予定(初聖体予定:小学1年生1名。堅信予定:小学6年生9名)③3/27~29教区侍者合宿に新5年生1名とリーダー4名が参加予定④4/8始業式 ②中 高 生 会 : ①3/12始業式②4/9新入生歓迎会、新学期開始 ③ 信 徒 養 成 : 「主日の福音を読む集い」(毎日曜9:30~10:15) ④ブ ロ ッ ク 合 同 教 育 部 会 : 5/13~14中高生会のつどい予定。5/14青年のつどい予定 ⑤キリシタン研究会:2/11「日本二十六聖人殉教420年年記念ミサ」(司式:小川神父)を実施した。(京都キリシタン研究会合同主催) ⑥ザビエル訪れ会:「クリスマス市民の集い」のアンケート回答者訪問完了。4・5月より財務部と協力して訪問を開始(4)施 設 管 理 部 = 3/26復活祭に向け例会開催予定(5)広 報 部 = 復活祭の行事に例年通り協力

**行事予定**=4ページ行事予定欄に記載

**協議事項**=(1)大塚乾隆助祭の司祭叙階式と初ミサについて:①司祭叙階式手伝い:受付3名・式次第配布2名・聖堂案内4名②聖歌隊席を子どもたちに解放する。(2)洛東ブロックについて:①求道者、地域の人々との交流の場として、ミサ後のお茶サービスコーナーを広げる。②「ラウダート・シ」「高山右近」の分かち合いをする。③9/3伏見教会でブロック大会(司教訪問ミサ)開催予定④全部会で合同部会を開催の方向で検討(3)新聖堂建立50周年記念行事:①聖堂モニターの見積もり完了し検討予定②明治村旧聖堂ミサのバス3台予約済③教会内不用品処分は施設管理部が担当する。④机の運搬用カゴ車を購入予定(4)復活祭:①部会ごとに聖週間聖書朗読者を選任②懇親会は例年通り③英語ミサは行われない。

**その他**=済州教区交流月間行事:明治村旧聖堂での「新聖堂建立50周年記念ミサ」のポスターを制作し教区内の小教区に配付する。

すがはらともあき

◇後任として、滋賀ブロックから菅原友明神父が赴任されます。

◇ 2017年4月・5月の行事予定 ◇  
(5月は予定です。変更の場合があります)

月	日	曜日	行 事 予 定
4	2	日	評議会4月例会
	9	日	受難の主日 (枝の主日) 世界青年の日
	12	水	聖香油ミサ 11:00
	13	木	聖木曜日 (主の晩餐の夕べのミサ) 19:00
	14	金	聖金曜日 (主の受難) 19:00 《大斎・小斎》 聖地のための献金
	15	土	聖土曜日 復活の主日 (復活の聖なる徹夜祭) 19:00
	16	日	復活の主日 (日中のミサ) 7:00 10:30 親睦パーティー10:30ミサ後 [英語ミサはありません]
	22	土	洛東ブロック会議(桃山教会) 14:00
	23	日	神のいつくしみの主日 子ども初聖体10:30 ミサ後パーティー
5	30	日	教会美化デー 教区新信者のミサ14:00
	7	日	評議会5月例会 世界召命祈願の日
	13	土	～14中高生のつどい 小教区評議会役員研修会
	14	日	青年のつどい
	21	日	世界広報の日
	28	日	主の昇天

### 2017年四旬節教皇メッセージから

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、四旬節はみことば、諸秘跡、そして隣人の中に生きておられるキリストと新たに出会うのにふさわしいときです。荒れ野で40日間過ごし、「悪魔」の誘惑に打ち勝った主が、わたしたちのたどるべき道を示してください。わたしたちが真の回心の道を歩めるよう、聖霊が導いてくださいますように。そうすれば、わたしたちはみことばというたまものを再び見だし、自分を盲目にする罪を清められ、困窮している兄弟姉妹の中におられるキリストに仕えることができるでしょう。

(カトリック中央協議会HP引用)



### 2017.四旬節 春の一日巡礼のご案内

京都の大殉教者をしのびながら、  
救いの神秘に思いを馳せましょう！

- ◆ 日時：2017年4月8日(土)
- ◆ 集合時間と場所：9時30分 河原町教会地階 都の聖母小聖堂集合  
コース：河原町教会⇨鴨川河原⇨正面橋東詰⇨京都の大殉教碑⇨南蛮寺跡  
⇨元本能寺跡⇨日本26聖人発祥の地記念碑⇨フランシスカン チャペル
- ◆ 解散予定：12時30分  
距離：約6km  
持ち物：水筒・帽子・雨具(少雨決行：歩きやすい服装と靴で)  
主催：京都キリシタン研究会・河原町教会キリシタン研究会

### 『京都の聖母』奉賛ミサのご案内

2017年 5月14日(日) 午後2時

場所：將軍塚(東山ドライブウェイ駐車場東屋付近) 現地集合  
ミサ司式：未定

\*雨天の場合はカトリック河原町教会 都の聖母小聖堂でミサ  
主催：京都キリシタン研究会・河原町キリシタン研究会



### 河原町教会 ミサの時間

日曜日 (主日のミサ)

7:00

10:30

\*英語ミサ 12:00 (第2・4週)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

### 信仰の学びのお知らせ

#### ◇信仰入門講座◇

◇司祭の異動により新しい日程を調整中です。決まり次第お知らせします。(ご質問などは、3階事務室までお問い合わせください)

#### ◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会】第1水曜日19:00～20:00

一場神父

【山科教会】毎金曜日9:30ミサ後

モンロイ神父

【伏見教会】毎火曜日10:00ミサ後～11:30

一場神父

【桃山教会】第1・2木曜日19:30～20:30

一場神父

#### ◇主日の福音を読む集い◇

(3F・301号室)

毎週日曜日9:30～10:15

※ミサ前にその日の福音を読む集いです。  
どなたでもお気軽にどうぞ。

#### ◇南部地区信徒養成講座◇

(1F集会室)

北村 善朗神父「祈りを学ぶ」

4月6日(木) 14:00

5月11日(木) 14:00

テキスト：『カトリック教会のカテキズム要約』

### カトリック河原町教会だより 2017.4

編集：カトリック河原町教会 広報部 担当司祭：一場 修  
住所：〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423  
電話：075-231-4785 ファックス：075-211-8021  
URL：<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>



教会公式ウェブサイト



教会公式フェイスブック